

(様式3)

事業所名 グループホーム あじさいの家

目標達成計画

作成日 平成 23 年 3 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	鍵のないトイレがあることから、利用者の人権やプライバシーが保護されていない。	利用者のプライバシーを配慮したトイレの環境作りに努める。	鍵のないトイレの入口に使用中を確認できるカードを準備し周知徹底を図っていく。	1 ヶ月
2	11	職員の入れ替わりが多く、計画的な研修受講が出来ていない。	スタッフ一人一人の希望や目標に応じた研修へ積極的に参加する機会を増やすことにより、個々のスキルアップを目指す。	スタッフ一人一人に介護目標を持ってもらい、それを達成出来るように本人に合わせた研修に参加するよう法人に働きかけていく。また、参加後は復命書を提出して研修の参加意義を強めていく。	12 ヶ月
3	35	より実践的な災害支援体制の構築を図る	火災だけでなく地震や水害などによる避難訓練を実施する事により、様々な状況に合わせて柔軟に対応できる支援体制を作る。	災害時に対する日勤帯・夜勤帯のマニュアルを細かく作成し、毎月実施していく。また町内会長や民生委員にも運営推進会議などでさらに働きかけていくことにより地域住民との連携を強化していく。	3 ヶ月
4	2	事業所の機能を地域に貢献していく取り組みが欲しい。	地域包括支援センターと連携をしながら「介護予防教室」や認知症サポーター養成講座の開催を目指す。	キャラバンメイトの養成講座を職員が受講し、地域包括支援センターと連携をしながら、認知症サポーター講座の開催を目指す。	12 ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。